

。○。○。○。

下水道の最新情報をお届けします！

発行日：2021.12.20

下水道機構の『新技術情報』第483号

(公財)日本下水道新技術機構 <https://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

今年のメールマガジンは本号をもって終了となります。

2021年もご愛読いただき、まことにありがとうございました。

次回の配信は、1月10日の予定です。

コロナウイルスとお酒に負けないカラダ作りを心がけて、新しい新年をお迎えください！

それでは機構メールマガジン『新技術情報』第483号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・第402回 技術サロンを2022年1月13日にZoomウェビナーで開催します！

■機構の行事予定

- ・今週はありません。

■Tea Break

- ・監督の言葉

(ふつつかさんからの投稿です)

■ピックアップ！機構情報

- ・特集2

(下水道機構の防災・減災の取り組み ～東日本大震災を振り返って～)

■はしわたし

- ・今週はありません。

■国からの情報

- ・12/20付下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション (最新の話です)

。○。○。

●第402回 技術サロンを2022年1月13日に開催します！

今回は、国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道事業課 企画専門官 若公崇敏氏より、ご講演頂きます。

インターネット環境があれば、どこからでも参加出来ますので多数の皆様のご参加をお待ちしております。

日時：令和4年1月13日(木) 16:00～17:00

場所：Zoomウェビナー

講演者：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部 下水道事業課 企画専門官 若公崇敏氏

テーマ：令和4年度下水道関係予算等について

※詳細及び参加申し込みはこちら

<https://www.jiwet.or.jp/salon402>

。○。○。

機構の行事予定

。○。○。

●今週はありません。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

●監督の言葉

(ふつつかさんからの投稿です)

ヤクルト日本一になりましたね。

そして何気ない言葉であります、高津監督が発した「絶対大丈夫！」って良い言葉です。

私はヤクルトファンではありませんが、「絶対大丈夫！」という言葉信じて戦っています！勇気もらっています！のように、ヒーローインタビューで選手がコメントし、それがやがてチームの合言葉のようになり、チーム全体も結束し、優勝にたどり着いたような感じでテレビを見ていました。

もちろん実力もあるのですが、シーズンが佳境に入り、選手が苦しいときや、結果が出ずに自分の力を疑うようになってきたときの言葉だから一層効果があったのでしょうか。

何よりも、監督が日頃から選手に信頼されていたからこそ、選手の耳に言葉がずっと入ってきたのでしょう。

修羅場になったときに試されます。果たして北の“ビックボス”は、何と言ってチームを鼓舞するのでしょうか。

ピックアップ！機構情報

(下水道機構情報 Vol. 17 No. 33 2021.8 夏季号の中から記事をご紹介します)

●特集2

(下水道機構の防災・減災の取り組み ～東日本大震災を振り返って～)

東日本大震災では、これまで想定していなかった津波による処理場・ポンプ場の甚大な被害が発生し、市民生活に甚大な影響を及ぼしました。こうしたことを契機として、効果的な地震・津波対策の推進が強く求められるとともに、下水道BCPの必要性が再認識されるようになりました。本機構においては、社会的な要請を踏まえ、産学官の多くの関係者のご支援ご協力を得ながら、地震・津波対策などの防災・減災の分野について、共同研究や政策支援に取り組んでまいりました。

ここでは、平成23年東日本大震災から約10年、地震・津波対策などの防災・減災の分野において、本機構が主に携わってきた、下水道BCP(業務継続計画)や津波対策に関する調査研究等の取り組みを振り返ります。

続きはこちら

→ <https://www.jiwet.or.jp/2021-12-20-quarterly1>

WEB版機関誌下水道機構情報Plus+ 21号(最新刊)はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter21>

下水道機構情報Vol. 17 No. 33 2021.8(最新刊)

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly33>

下水道機構情報ははこちら

<https://www.jiwet.or.jp/quarterly0>

ニューズレターはこちらから

<https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

審査証明技術全体はこちら

<https://www.jiwet.or.jp/examination0>

はしわたし (みなさまの情報交流の場です)

＼(^-^)皆さまからの情報提供をお待ちしております(^-^)/

提供はこちらまで→ jiwet@jiwet.or.jp

※テキストは原則400字以内。写真等はA4版にして原則2ページ以内。
なお、お寄せいただいた情報はそのまま掲載することを基本としますが、
掲載の可否は機構にて判断させていただきます。

国からの情報

。○。

↓ここからは、国からの下水道ホットインフォメーションを掲載しています。

=====
下水道ホットインフォメーション（2021. 12. 20の情報です）
配信元：国土交通省 水管理・国土保全局 下水道部下水道事業課
企画専門官 若公崇敏
=====

おはようございます。金曜日から週末にかけて、
北海道や北日本、日本海側では大雪に見舞われました。
水処理で活躍する微生物にとっても寒さは大敵、低水温時の水質管理は大変繊細で難しいそうで、
この週末、大雪や水質管理で対応に当たられた方もいらっしゃるかと思います。お疲れ様でした。

いよいよ今年も残すところ10日あまりとなりました。
報道ベースですが、令和3年度補正予算は本日20日に成立する見通し、
また、令和4年度予算の政府予算案の編成も今週大詰めを迎える見込みです。
新規制度の1つとして「下水道情報デジタル化支援事業」を検討していますが、
管路情報のデジタル化に関連し、「下水道共通プラットフォーム」の立ち上げに向けた
議論も進んでいます。詳しくは以下のヘッドラインでご紹介しておりますので、
管路情報の電子化に取り組もうとお考えの自治体の皆様は、是非ともご参照ください。

本日は、上記の取組を含めた下水道DXをはじめ、様々な施策を守備範囲広く担当している、
下水道事業課の末益補佐をご紹介します。

=====
下水道事業課事業マネジメント推進室課長補佐の末益です。
国土交通省に入省し、下水道事業課に在籍した後、環境省や和歌山県、宮崎市への出向を経て、
令和2年4月より現在のポストで、主に老朽化対策や耐震対策に加え、会計検査対応などを行っております。

さて、プライベートな話になりますが、現在、妻と2人の娘と暮らしております。
時代の流れでしょうか・・・娘からは毎朝、「今日は休みなのか？お家でお仕事なのか？会社でお仕事なの
か。」
を聞かれ、「今日はお家でお仕事だよ。」と言うと大変喜ばれます。
テレワークで一生懸命仕事をしているんですが・・・と悲しくもなりますが、
一方でテレワークなど働き方が変わってきたんだなとも実感しているところです。
（一度部内会議で娘が参加してきたことがありましたが、娘も当方と一緒に参加したかったのかもしれま
せん笑
・・・下水道部の皆様、そのときは大変失礼いたしました苦笑）

ちなみに、皆様の職場環境はいかがでしょう。
当方、下水道のDX担当でもありますので、それぞれの職場で、
DX推進に関する取組がありましたら、ぜひ教えていただけないかと思います。

デジタル技術の導入に加え、業務の変革という点で、億劫になるところですが、
まずはチャレンジしてみることがDX推進のためには重要なのかなと考えておりますので、
いろいろなことにチャレンジしていきたいと思います。
引き続き、どうぞよろしく願いいたします。

- =====
★★★★★ 今週のヘッドライン ☆☆☆☆☆
○「第3回下水道共通プラットフォームあり方検討委員会」を開催しました（（公社）日本下水道協会）
○「下水道インフラオンライン見学会」の実施について ～地下では何が行われている？ 東京下水道
の技術力を知る～（東京都下水道局）
○第4回アジア・太平洋水サミット 公式サイドイベント（現地展示会、一般公開セミナー・シンポジウ
ム）の公募（日本水フォーラム）
○2021年度第2回ウォータープロジェクト「グッドプラクティス塾」の開催について（環境省）※再掲
○「第3回下水道共通プラットフォームあり方検討委員会」を開催しました（（公社）日本下水道協会）

12/17（金）に第3回下水道共通プラットフォームあり方検討委員会を開催しました。この委員会は、昨年度の「下水道政策研究委員会制度小委員会」で示されたストックマネジメントの高度化に向け、下水道管路について、中小都市における台帳の電子化、地方公共団体におけるプラットフォームの活用、民間や国の機関等におけるデータの利活用の推進等を目的に共通プラットフォームの構築に向けた検討を行うため設置されたものです。第3回となる今回は、国土交通省等から共通プラットフォーム構築に向けたモデル実証事業について報告がなされたほか、委員会の報告書（案）について議論いただきました。当日の資料等については、以下のホームページよりご覧いただけます。

<https://www.jswa.jp/digital-transformation/page-21757/>

○「下水道インフラオンライン見学会」の実施について ～地下では何が行われている？ 東京下水道の技術力を知る～（東京都下水道局）

東京都下水道局では、お客さまに下水道事業への理解を深めていただけるよう、東京下水道の役割や課題、魅力を積極的に発信することに取り組んでいます。その一環として、所有する複数の施設を事前撮影した映像や、工事現場からの中継などを通して、お客さまがその大きさなどを体感し、楽しんでいただくオンライン見学会を実施します。普段は見るできない下水道施設や工事現場などのオンライン見学を通して、東京下水道について楽しみながら理解を深めていただきます。

実施方法：オンライン会議システム「Zoom」を使用（無料）

申込方法等：申込用WEBサイト（<https://www.tokyo-gesuido-live.com>）を御覧ください。

募集人数：200名（各コース共通）※抽選

【コース1】 地下の世界にご招待！ 幹線工事現場コース

実施日時：令和4年1月26日（水曜日）午後4時から午後5時まで（予定）

対象施設：千代田幹線工事、九品仏幹線再構築工事

【コース2】 スケール感と技術力！ 大規模工事現場コース

実施日時：令和4年2月9日（水曜日）午後6時から午後7時まで（予定）

対象施設：千代田幹線工事、みやぎ水再生センター雨水ポンプ棟ポンプ設備工事など

※千代田幹線工事は、コース1とコース2とで共通です。

詳細についてはこちらをご参照下さい。

https://www.gesui.metro.tokyo.lg.jp/news/2021/1215_5899.html

問合せ先：

東京都下水道局総務部広報サービス課（03-5320-6515）

○第4回アジア・太平洋水サミット 公式サイドイベント（現地展示会、一般公開セミナー・シンポジウム）の公募（日本水フォーラム）

令和4年（2022年）4月23日、24日に熊本市で開催します「第4回アジア・太平洋水サミット」

（4th APWS）において、会期中に、

・水に関する意識啓発などを広く情報発信することを目的とした、一般公開セミナー・シンポジウムを主催する団体

・水などに関する技術、製品、取組などを紹介する展示会を併設する企業や市民団体等の出展者を募集します。

◆公式サイドイベント（一般公開セミナー・シンポジウム）

応募締切：2022年1月31日（月）正午（日本時間）

詳細はこちら：

<https://apwf.org/kumamoto-2022-jp/side-event/>

◆公式サイドイベント（現地展示会）

応募締切：2022年2月14日（月）正午（日本時間）

詳細はこちら：

<https://apwf.org/kumamoto-2022-jp/kumamoto-2022-event/>

問い合わせ先：

4th APWS事務局（特定非営利活動法人日本水フォーラム）
〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町5-4アライズ第2ビル6階
E-mail : 4apws@waterforum.jp <<mailto:4apws@waterforum.jp>>

【参考】第4回アジア・太平洋水サミット（熊本市において開催）
アジア太平洋地域の首脳級や国際機関の代表などが集い、水に関する諸問題について議論する、第4回アジア・太平洋水サミット（4th APWS）が、熊本市で開催されます。
開催地である熊本市の、長年にわたる地下水保全の取組や熊本地震からの復興を世界に発信します。また、2017年にミャンマーのヤンゴンにて開催された3rd APWSでは、「ヤンゴン宣言」が採択され、水の観点から持続可能な発展のための道筋が示されました。
4th APWSでは、「持続可能な発展のための水～実践と継承～」をテーマに、「ヤンゴン宣言」で決意表明された内容の実践を議論し、その成果はSDGsの達成に大きく寄与することが期待されます。
日程：2022年4月23日（土）～24日（日）
会場：熊本城ホール
主催：アジア・太平洋水フォーラム、熊本市
詳細はこちら：<https://apwf.org/kumamoto-2022-jp/>

○2021年度第2回ウォータープロジェクト「グッドプラクティス塾」の開催について（環境省）※再掲

環境省では、今年度第2回目のグッドプラクティス塾を12月24日（金）に開催します。
地球環境問題として、脱炭素や生物多様性ととともに、SDGsのゴール6である「水」についても、企業活動に対する市民や投資家の関心がかつてないほど高まっています。

今回のグッドプラクティス塾では、アクアスフィア・水教育研究所の橋本淳司氏をお招きし、企業活動にとっての水リスクとは何かをうかがいます。さらに、企業からの事例発表として、株式会社クボタ、日本電気株式会社（NEC）から、水リスクの把握と対応策の検討・実施の取組について紹介いただきます。
参加登録必須ですので、詳細についてはURLからご確認ください。
<http://www.env.go.jp/press/110265.html>
皆様の御参加をお待ちしております。

=====

【参考情報】

地下に雨水ためる貯留管 小学生が小倉北区の建設現場を見学 <12/13 NHK NEWS WEB>
<https://www3.nhk.or.jp/news/kitakyushu/20211213/5020010112.html>

「地下の雨水貯留管」小学生が見学～「広くて暑かった」 福岡・北九州市 <12/13 RKB オンライン>
<https://rkb.jp/article/55408/>

マンホールで「合格祈願」？ 限定2000枚で高松市がお守りを配布 <12/13 KSB 瀬戸内放送>
<https://news.yahoo.co.jp/articles/29a694f136122850d47b8b87efcdbce10afd61a0>

新宿観光案内所で「シン・ゴジラ」の「マンホールカード特別版」配布 <12/13 みんなの経済新聞>
<https://news.yahoo.co.jp/articles/6681d1862854bd6e3dc5aaf755d4c344f1cb6d8e>

燃料電池車普及へ 福岡市が水素ステーション買い取りを検討 <12/14 NHK NEWS WEB>
<https://www3.nhk.or.jp/fukuoka-news/20211214/5010014191.html>

上下水道と工業用水の運営権を民間に売却「みやぎ型管理運営方式」 <12/14 khb東日本放送>
<https://news.yahoo.co.jp/articles/7efd940063b5bc70dcfc0fb056eb299840f0fb77>

流域治水：気候変動危機の時代における治水対策 <12/15 nippon.com <<http://nippon.com>> >
<https://www.nippon.com/ja/in-depth/d00774/>

「GJ8マン」や非公開のものまで…郡上市のマンホール一堂 <12/15 岐阜新聞Web>
<https://news.yahoo.co.jp/articles/560416382aa5ad5a8e7c5eba74029f1be28e59ed>

県民の不安に「結果で示す」 水道みやぎ、運営2企業代表に聞く <12/15 河北新報>
<https://kahoku.news/articles/20211214khn000056.html>

合格祈願マンホールカードお守り「合格まんぼ〜」を配布します＝福井市 <12/15 JIJI.com>
<https://www.jiji.com/jc/article?k=20211215Pr2&g=jmp>

政府／水循環インフラの再エネ導入目標提示／50年までに7億キロワット時確保 <12/15 日刊建設

工業新聞>

<https://www.decn.co.jp/?p=124373>

「値上げに反対する人」も実は知らない水の値段 <12/17 東洋経済オンライン>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/00daa37196e26886aa3f50da4f48ac77080e43a7>

下水道の「革新者」標榜/中期的な事業のあり方答申/JS評議員会 <12/17 建設通信新聞>

<https://www.kensetsunews.com/archives/645345>

新経PV年間ランキング1位は「シン・ゴジラ」の「マンホールカード特別版」配布 <12/17 みんなの経

済新聞>

<https://news.yahoo.co.jp/articles/fb007ac4380050e15874603e6673a68042acc1dd>

落ちぬ滑らぬマンホールカード 合格願い22日から配布 <12/18 朝日新聞>

<https://www.asahi.com/articles/ASPDK6RGKPKDTOLBOOM.html>

諭吉にちなんだマンホール作成 大分・中津 <12/18 毎日新聞>

https://news.biglobe.ne.jp/domestic/1218/mai_211218_3828119924.html

=====

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部

〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル7F

TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<https://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えしたい情報をお持ちの方はこちらから → jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ jiwet@jiwet.or.jp

○メルマガ配信停止はこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/member-mag-unsubscribe>

○ニューズレターはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/newsletter0>

○はしわたしのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/hashiwatashi>

○ゆいまーるのバックナンバーはこちらから

→ <https://www.jiwet.or.jp/publicity/yuimaru>